

## 令和3年度中越支部講演会・通常総会 開催報告

### 中越支部講演会 ～臨床検査と薬剤について～

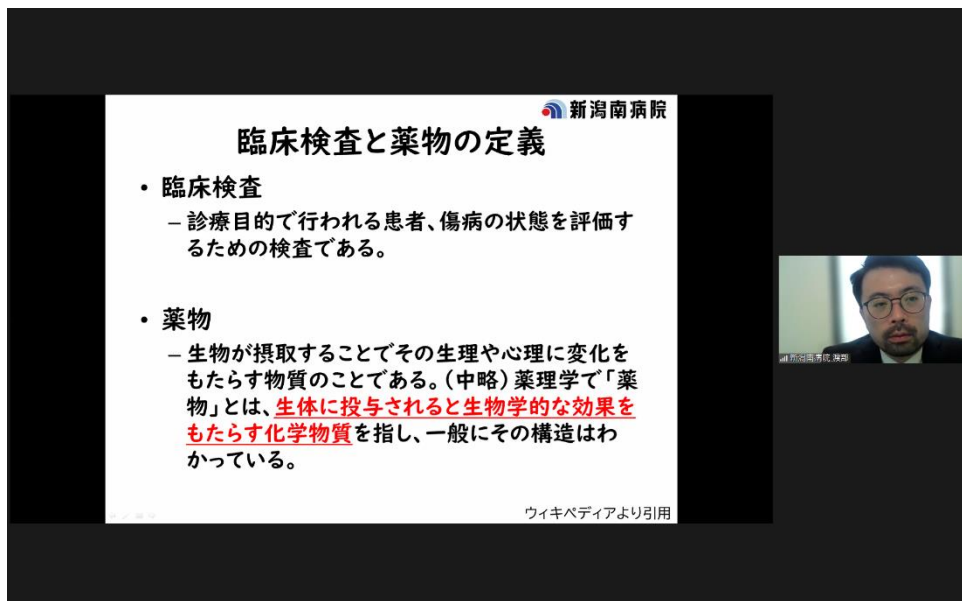
令和4年3月5日（土）に、中越支部講演会ならびに中越支部通常総会がweb開催されました。学生を含め63名もの方にご参加いただきました。講演会は、新潟南病院 渡辺学先生より、「臨床検査と薬剤について」ご講演いただきました。

まず、臨床検査に影響を与える薬剤として、血糖値へ影響がある薬剤についてご説明いただきました。高血糖を起こしうる薬剤について、実際に有害事象が発生した症例を含めいくつかご紹介いただきました。薬剤による重篤な有害事象を未然に防ぐためにも投与前の血糖測定・投与中のモニタリングが重要になります。薬剤師より、医師へ血糖モニタリングの声掛けを行っているとのことですが、検査技師からもアラートをかけるなどの工夫をしていただき、適正に定期検査が行われるように協力していただきたいとのことでした。薬剤による有害事象を未然に防ぐため、また早期発見するため、これから検査技師も積極的に関わっていく必要あると感じました。他にも、 $\beta$ 遮断薬と血糖降下薬の併用には注意が必要なこと、 $\beta$ 遮断薬使用者がアナフィラキシーショックを起こした場合、グルカゴンを使用しなければならないことなど、分かりやすく教えていただきました。

また、肝・腎障害があると薬剤の血中濃度が上昇する場合や、機能自体を悪化させてしまう薬剤もあるため、血糖同様に定期的なモニタリングが重要になります。また腎機能の指標にもなる血清クレアチニン値が体格により正しく評価できず、薬剤の使用に影響がでてしまう場合を教えていただきました。

この度の講演で臨床検査と薬剤の関わりが深いことを再認識することができました。患者さんが安心して薬剤を使用するためには、薬剤師と臨床検査技師の連携が必須であると思いました。貴重なご講演をいただきありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

報告者：中越支部理事 小熊 望（新潟県立十日町病院）



新潟南病院

### 臨床検査と薬物の定義

- ・臨床検査
  - 診療目的で行われる患者、傷病の状態を評価するための検査である。
- ・薬物
  - 生物が摂取することでその生理や心理に変化をもたらす物質のことである。(中略)薬理学で「薬物」とは、**生体に投与されると生物学的な効果をもたらす化学物質**を指し、一般にその構造はわかっている。

ウイキペディアより引用

## ～令和3年度通常総会～

講演会に続き通常総会を Zoom にて同日開催し、26 名の中越支部会員よりご参加いただきました。前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の波が収まらない中での支部活動となりましたが、令和3年度の事業報告・決算報告、令和4年度の事業計画・予算案について、参加の皆様より承認をいただきました。

今年度も歴史ある支部フォーラム、ふれあい研修会、支部講演会を開催方法や開催場所など考慮した上でできる限り企画・開催してまいります。これらは重要な情報発信の場であり会員の知識向上とスキルアップに有益なものと考えます。医療人として、より一層必要とされる臨床検査技師の育成に支部として努めてまいります。

地域保健活動（公益事業）にも積極的に参加・協力をしていきたいと考えておりますが、今後の状況と感染回避の行動指針に則った対応をしていきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が未だみえない中ではありますが、役員全員で協力しながら、適切かつ有用な支部運営を行ってまいります。活発な支部運営を行うため、引き続き会員各位よりご支援ご協力をよろしくお願い致します。

報告者：中越支部長 田村 正史（長岡赤十字病院）



### <連絡・問合せ先>

一般社団法人新潟県臨床検査技師会中越支部（広報）

所属施設：長岡中央総合病院 検査科

所在地：〒940-8653 長岡市川崎町 2041 番地

電話番号：0258-35-3700

内線：3881

（文責：大関 洸士）